

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 **教育委員会事務局 栗山公民館**

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市西川運動場		
	所在地	日光市西川126番地2外		
指定管理者	名称	株式会社湯の郷、湯西川温泉旅館組合事業共同体		
	代表者名	株式会社湯の郷 代表取締役 赤羽 亘一		
	住所	日光市西川481番地		
指定期間	平成28年4月1日	～	平成33年3月31日	5年間
選定方法	非公募		評価実施年	5年間のうち2年目
施設設置目的	地域住民の健康保持及び増進並びにコミュニティレクリエーション広場として設置			
主な実施事業	西川運動場の施設の維持管理、使用の許可及び運動場の運営に関する業務等			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用団体数	団体	100	152	100	155						
b 使用日数	日	100	114	100	107						
c 施設稼働率	%	30	46.7	30	43.9						
d サッカー大会等実施回数	回	6	11	6	10						
e 利用者の満足率	%	90	77.8	90	89.1						

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収入計 A	11,635,250	12,438,427	0	0	0
指定管理料	10,296,300	11,120,000			
利用料収入 C					
自主事業収入	1,338,916	1,318,405			
その他	34	22			
支出計 B	11,377,394	12,205,743	0	0	0
指定事業費	10,109,936	10,963,762			
内人件費 D	4,074,935	4,354,838			
内外部委託費 E	3,246,800	3,289,454			
自主事業費	1,267,458	1,241,981			
事業収支 A-B	257,856	232,684	0	0	0
人件費率 D/B	35.82%	35.68%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	28.54%	26.95%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

接客対応については、前年度実施アンケート結果を踏まえ改善に努めたことで全般的に評価が上がった。特に「受付の手続き」と「施設の清掃」の評価については、それぞれ15ポイント増、8ポイント増の高評価を得た。
サッカー場の周囲に日除け・雨除けとなる施設がないことから、簡易テントを5基設置し利用者の利便性の向上に努めた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B B B	B B B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A B	A B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B B	B B B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B	B B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B B B	B B B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B A B	B A B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B B B B	B B B B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B B	B B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	湯西川温泉旅館組合と連携し、県内外各地からサッカー大会、合宿等を誘致し、スポーツツーリズムによる観光の振興と地域の活性化に取り組んだ。 キャンセルが生じた場合は、県内のチームに対し電話により空き状況を提供するなど利用促進を図った。 サッカーフェスティバルなど計8回の大会を開催し、利用者の増加を図った。また、冬期間の誘客対策として多目的広場の利用促進のため、昨年に引き続きクロスカントリースキー教室の開催及び春休み期間中のサッカー大会を開催した。			
	(所管課評価)			
	総利用者数は前年度より微減となったが、サッカー大会やクロスカントリースキー教室の開催等により利用促進に努めている。今後もサッカー大会の開催継続や魅力あるイベントを開催することにより利用者数の増加を図る必要がある。 接客対応については、前年度の結果を踏まえ改善に努めたことで全般的に評価が上がっており、特に「受付の手続き」と「施設の清掃」の評価については、それぞれ15ポイント増、8ポイント増の高評価を得た。			
別添反響口評 ※反響評価		B	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		